



人権月間の取組



宮原小学校では、11月14日(月)から12月16日(金)を人権月間として各学年で取組を行いました。人権部落問題学習として、1年生「さるとかに」2年生「おかあさんのしごと」3年生「食べることは生きること」4年生「正信君を犯人にしたのはだれか」「集会所って何？」5年生「ぼくの人権フェスティバルだけん、来てね」6年生「手紙をくれたあなたたちへ」の授業を行いました。(授業参観で行った学級もありました。)

授業を通して、一人ひとりが認めあい、支えあい、つながりあうことのできる集団づくりをめざしています。また、人権部落問題学習で学んだことを人権月間の中で生かしながら、自分自身や身の回りの事象と結びつけた人権集会をめざし、低・中・高で取り組みました。



高学年は、12月19日の計画を延期し、1月になってから、各学年で行いました。5年生は、1月30日(月)2校時に、校長先生のお話、人権部落問題学習を学んでの作文発表をし、感想交流しました。その後、熊本県人権子ども集会の動画視聴をしました。久米小学校の活動報告を見ました。

6年生は、1月31日(火)5・6校時に校長先生のお話、熊本県人権子ども集会の動画視聴を感想交流しながら行いました。久米小学校、高森東学園義務教育学校、県立天草支援学校の活動報告、「普通ってなんだろう～あなたにとって個性とは～」の発表を見ました。たくさん感想を交流することができました。担任からも、それぞれの思いを子どもたちに語りました。





中学年は、12月20日の計画を延期して、1月17日（火）5校時に体育館で行いました。3年1組は、今までの人権学習から考えたことや伝えたいことを作文にし、一人ひとり人権宣言をたてました。3年2組からは、「食べることは生きること」の学習をして、自分の家の人の仕事をみつめ、親との出会い直しをしたことを発表しました。4年生は、倉田さんとの出会いから学んだことを伝えました。全ての学習に、“命”に関することが入っており、4年生の発表に対して、「倉田さんが言った『戦争が一番の人権をうばうこと』は、ぼくの発表と同じでした。」などの返しがありました。岩本先生の「しばてん」絵本朗読もありました。



低学年は、12月21日（水）にオンラインで各学級をつないで、校長先生のお話、1年生から「さるとかに」を学習しての作文発表、2年生から「おかあさんのしごと」を学習しての作文発表、感想交流を行いました。